



東海自然歩道シンボルマーク

## 既存情報・アンケート・ヒアリング調査 報告

東海自然歩道ならではの魅力ワークショップ



# 目次

- ① 東海自然歩道の構想について
- ② 東海自然歩道の魅力（自然・文化）について
- ③ 東海自然歩道の構想に対する社会的反響について
- ④ 記録映画「東海自然歩道」
- ⑤ 東海自然歩道の書籍
- ⑥ 東海自然歩道の標識
- ⑦ 東海自然歩道に関するアンケート
- ⑧ 東海自然歩道に関するヒアリング
- ⑨ ロングトレイルの維持管理・運営システムの考え方
- ⑩ ワークショップについて



# 東海自然歩道の構想について

「国民自然歩道（仮称）の構想 第一次計画 東海自然歩道について」（昭和44年1月）

## ○東海自然歩道の作成の背景

全国的に都市化が進み、地域開発が進行するにつれて、日本人の心の古里であり、また憩いの場所であった自然は、私たち国民から遠い存在になりつつある。

このような事態に対応するには、自然公園も、従来のような個々の地域的なものだけでなく、公園や休養地を带状に連ね、有機的に連絡するような新しいタイプのものが考えられねばならない。

厚生省では、带状の公園の中心に各自然公園を連絡しながら、自然を探勝する歩道を計画して、この歩道を軸線として、自然公園の保護と利用とを全国的にはかっけていくこととする。

## ○雑誌「国立公園」（1969）東海自然歩道の構想 大井道夫

東海自然歩道の構想は、東京から大阪まで、原生林や野生動物の生息地のような自然地域や、由緒ある社寺や古戦場などの文化財の所在地を通り、人間自らの足で歩いて行く歩道を設定しようとするものである。

開発とともに自然の保護が適切にはかれ、自然の中に人間が浸る野外レクリエーションが促進されなければならない。

人間自らの足で、何日も何日もかけてゆっくり歩きながら自然を楽しみ、文化財と親しむことで文明は限りなく前進することができる。



# 東海自然歩道の構想について

「国民自然歩道（仮称）の構想 第一次計画 東海自然歩道について（第2次路線案）」（昭和44年5月）

国民自然歩道は、将来全国的な規模で整備するものとするが、さしあたっては東京から大阪までのいわゆる**東海道メガロポリスの外縁部の自然公園地帯に設定**するものとし、この路線を「東海自然歩道」と称する。

## ○具体的な構想（下記5項目）

- ① この歩道は、明治百年記念事業により整備された東京の明治の森高尾国定公園を起点とし、大阪の明治の森箕面国定公園を終点とし、**東京、大阪間の主要都市からの分割利用**がはかれるような路線計画とする。
- ② この歩道は、連続する都市地域の背後にある**自然地域**を通り、既存の国立公園、国定公園、都府県立自然公園や、国の重要な**文化財**を四季を通じて探勝することができ、これを利用することによって、**国民誰でもが、美しい日本をしみじみと味わう**ことのできるようなものとする。
- ③ この歩道の沿線地域において、新しい自然公園や休養地を積極的に設定する。  
これにより、東京から大阪まで既設の自然公園とあわせて帯状の自然公園地帯を確保し、**都市のスプロール化に対する自然保護の防波堤**とする。
- ④ **歩道の付帯施設**として、自然や文化財を解説するビジターセンター、展望園地、休憩広場、宿泊施設などを整備する。
- ⑤ この歩道の整備は、**国だけでなく、関係都府県、市町村、関係民間諸団体およびその他広く国民一般の積極的な参加**によって実施して行く。  
この歩道は、利用性の豊富な自然公園地帯を通過し、しかも東海道メガロポリスの主要都市から容易に分割利用ができるので、年間2,000万人以上の利用者が見込まれるものと考えられる。



# 東海自然歩道の構想について

「国民自然歩道（仮称）の構想 第一次計画 東海自然歩道について」（昭和44年5月）

## ○計画の概要

路線の具体的な計画は、今後の詳細な調査によることとするが、関係都府県と協議の結果、本年1月発表した第1次路線案を修正し、次のとおり第2次路線案を策定した。

## 歩 道

- 1 起点—明治の森高尾国定公園（東京）  
終点—明治の森箕面国定公園（大阪）

## 2 延長

- 単線の総延長 1,017キ〇 （新設 321キ〇 改良 696キ〇）
- 複線を含む総延長 1,275キ〇 （新設 407キ〇 改良 868キ〇）  
（備考 第1次案の総延長 910キ〇 新設 399キ〇 改良511キ〇）

（参考）

- ※ 第1次案（同年1月）からの変更点  
名称が決定。単線から複線（寧比曽～犬山（北回り）、油日岳山麓～笠置（南回り））が追加された。
- ※ 以降、単線、複線という記載はなくなり、整備の進捗に伴い、昭和45年10月には1,376.4キ〇、昭和49年4月1343.2キ〇と記載されている。

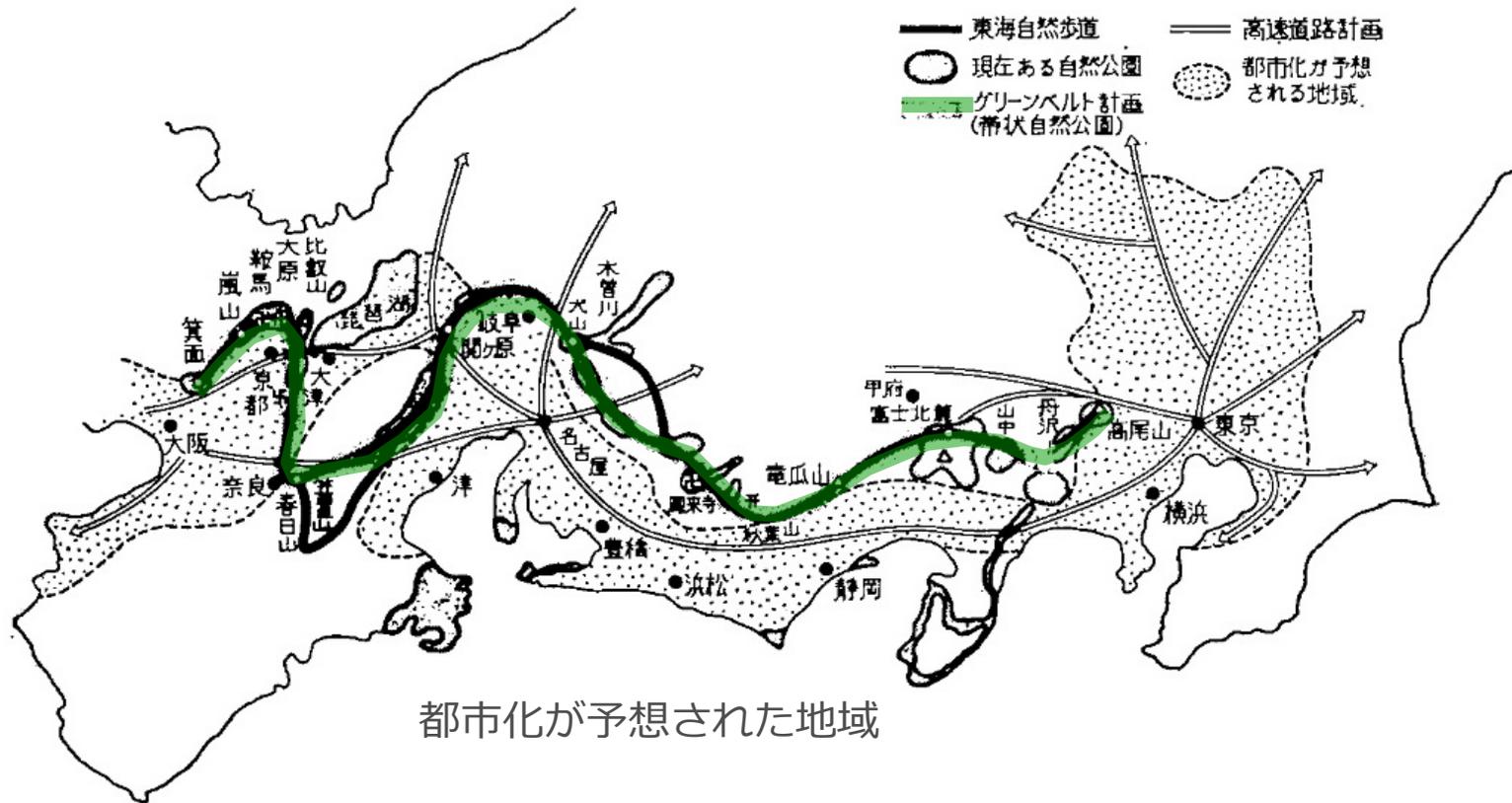


# 東海道メガロポリスとグリーンベルト計画

「厚生指針」抜刷\_第16巻「東海自然歩道の計画」(国立公園部計画課 糸賀 黎)

東海道メガロポリスの外縁部に、帯状の自然公園のグリーンベルトの軸線に東海自然歩道が設定された。静岡、名古屋、岐阜、奈良、京都など主要都市から日帰り、あるいは1～2泊の分割利用ができる路線登り下りもなるべく少なくし、国民誰でもが美しい日本をしみじみと味わいながら歩ける道

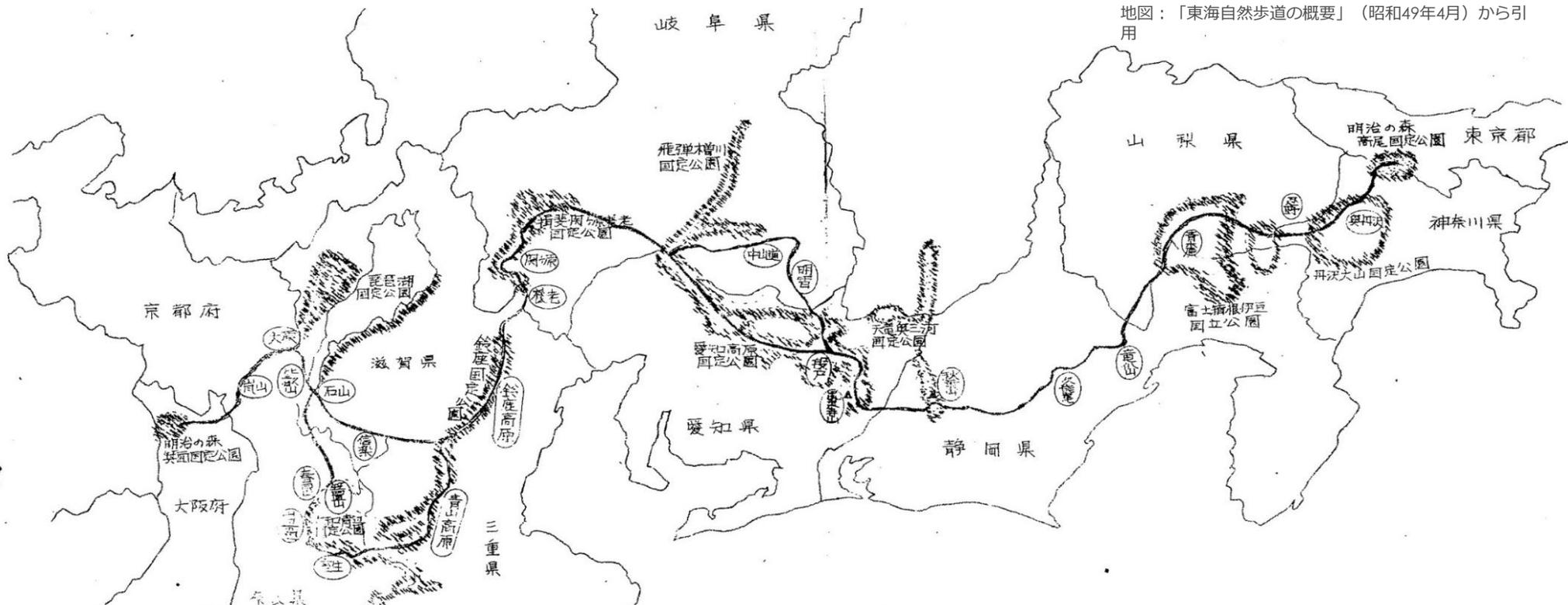
図1 東海自然歩道構想図



三大都市圏、東海道メガロポリスに日本の人口の6割が集中すると予想された(2023年10月現在、11都府県に4割余りが居住している)



# 東海自然歩道の魅力(自然・文化)について



地図：「東海自然歩道の概要」(昭和49年4月)から引用



社寺、歴史的要素が増えてくる?

比較的自然度が高くなる?

記録映画「東海自然歩道」リーフレットより

## 大阪～滋賀・奈良

数多くの社寺が登場する。古い歴史と豊かな自然。風景として眺めても美しい。わが国最古の道という山辺の道を行く。京都の在を行くときには、もう一つの京都を発見することができる。

## 三重～愛知

一方に古い寺や古い城、古い町や古い街道などがある。もう一方に自然の大なる姿や細やかな表情、自然に近いところにある村落や自然に親しんでいる人々の生活がある。歴史と自然がほどよく混在している。

## 静岡～東京

より深く自然の中を通っている。大なる自然の景観や四季の表情、数多くの川や渓谷、さらに昔ながらの集落の姿、人々の生活、そこからうまれたいろいろな行事を目にすることができる。歴史に登場することがなかった風景の数々。



# 東海自然歩道の魅力(自然・文化)について

アンケート意見

自然に関する魅力

文化に関する魅力

### (3) 忍野 (山梨)

熔岩地帯に樹齢200年までのハリモミ純林がみられ、附近の忍野部落には富士山を背景にした、ひなびた山村風景が残されている。

### (1) 高尾山(東京)

モミ、ツガ、ブナ等の暖温帯性の自然林で、鳥類、昆虫類の生息地、明治百年記念事業で整備された明治の森を通り、城山から相模湖に下る。

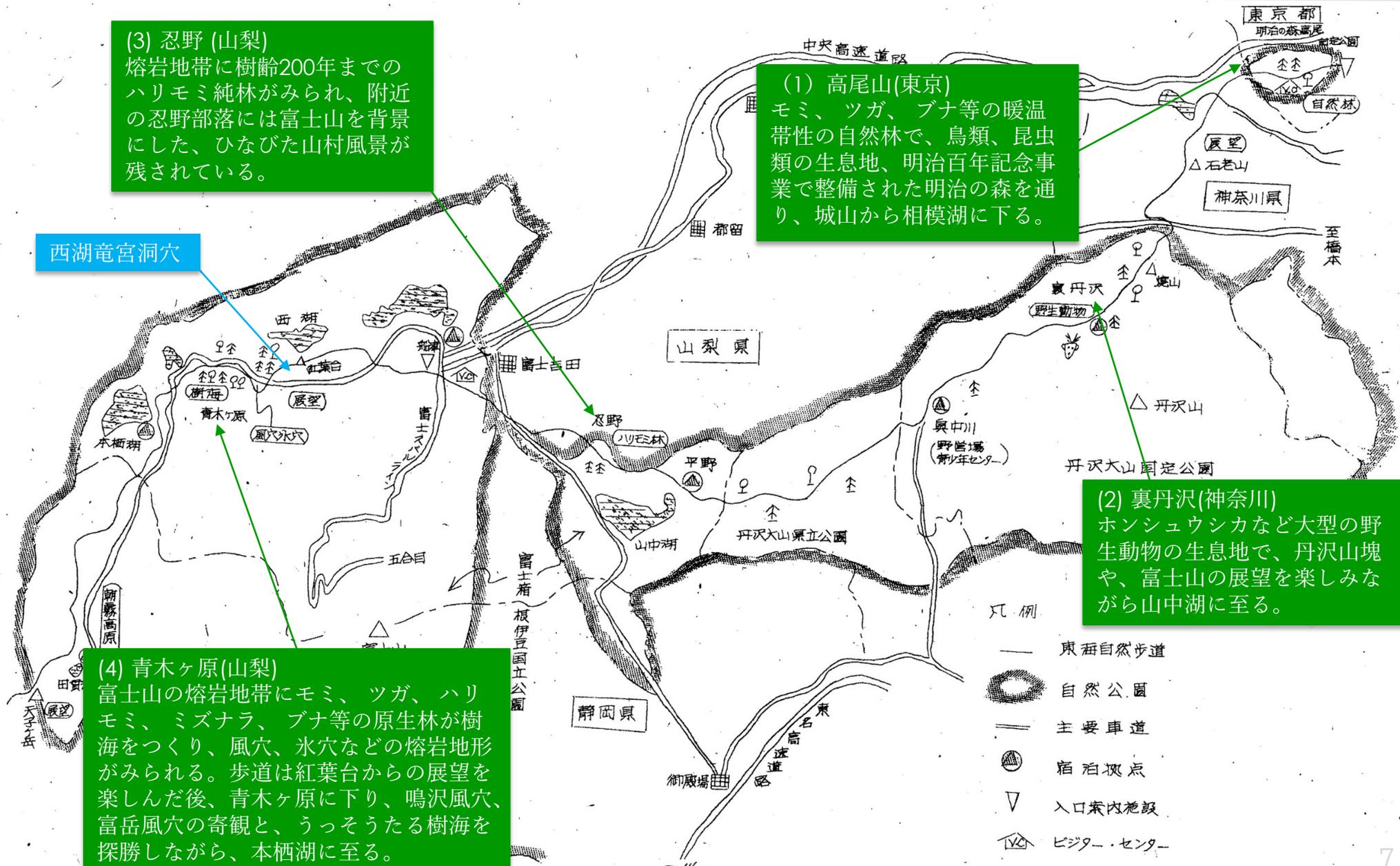
### 西湖竜宮洞穴

### (2) 裏丹沢(神奈川県)

ホンシュウシカなど大型の野生動物の生息地で、丹沢山塊や、富士山の展望を楽しみながら山中湖に至る。

### (4) 青木ヶ原(山梨)

富士山の熔岩地帯にモミ、ツガ、ハリモミ、ミズナラ、ブナ等の原生林が樹海をつくり、風穴、氷穴などの熔岩地形がみられる。歩道は紅葉台からの展望を楽しんだ後、青木ヶ原に下り、鳴沢風穴、富岳風穴の寄観と、うっそうたる樹海を探索しながら、本栖湖に至る。



- 凡例
- 東海自然歩道
  - 自然公園
  - 主要車道
  - 宿泊拠点
  - ▽ 入口案内施設
  - Ⓜ ビジター・センター

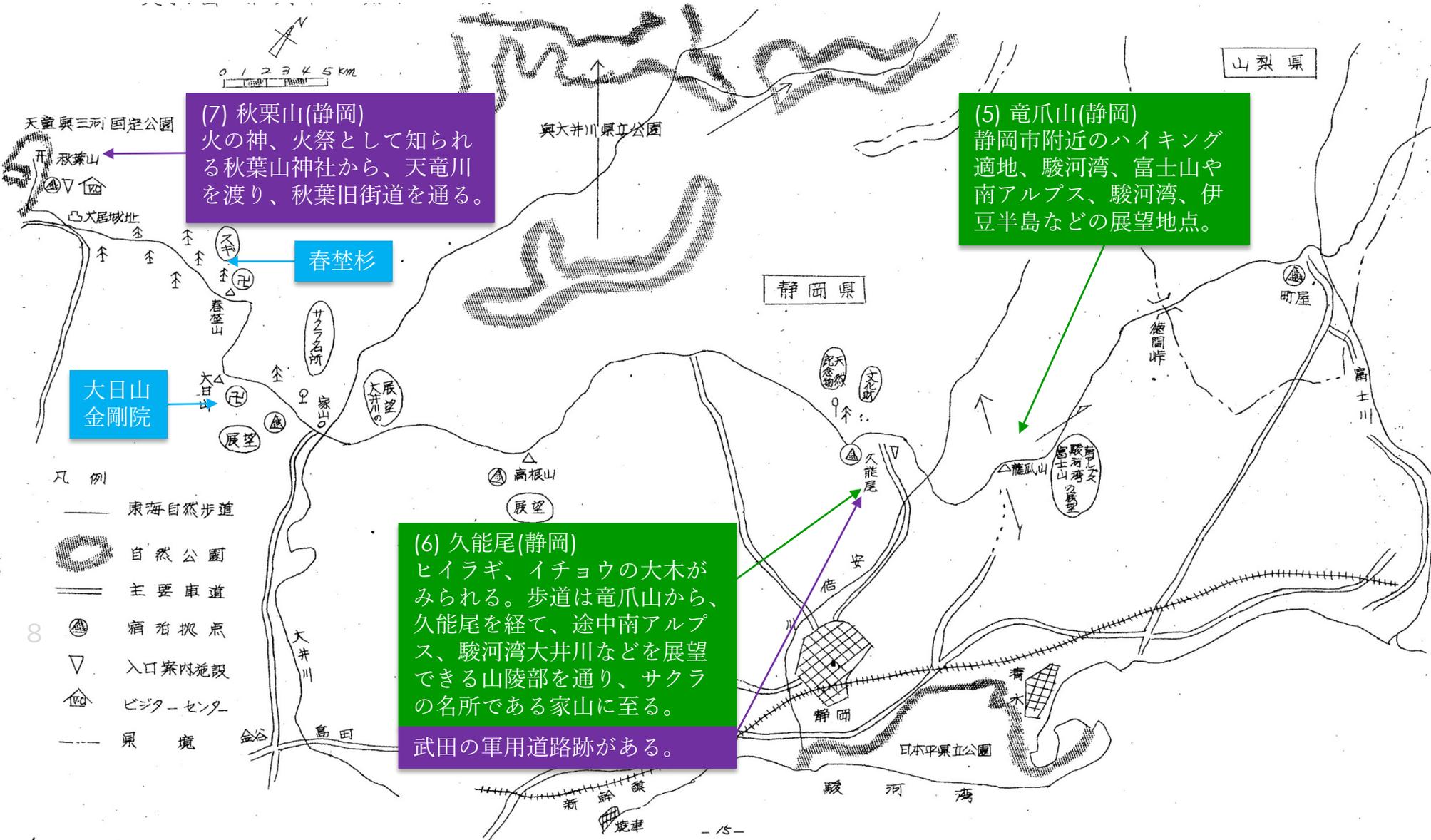


# 東海自然歩道の魅力(自然・文化)について

アンケート意見

自然に関する魅力

文化に関する魅力



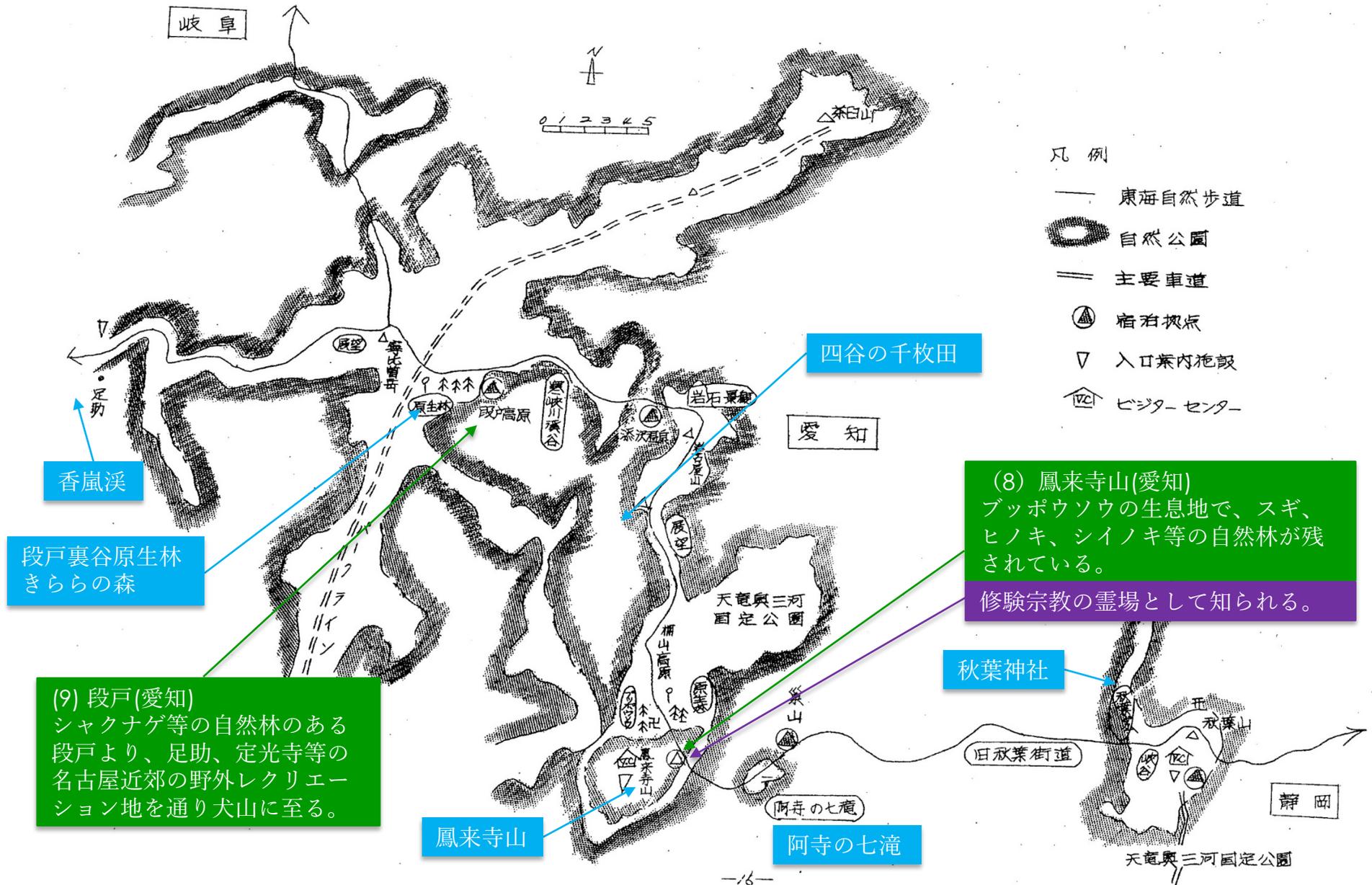


# 東海自然歩道の魅力(自然・文化)について

アンケート意見

自然に関する魅力

文化に関する魅力



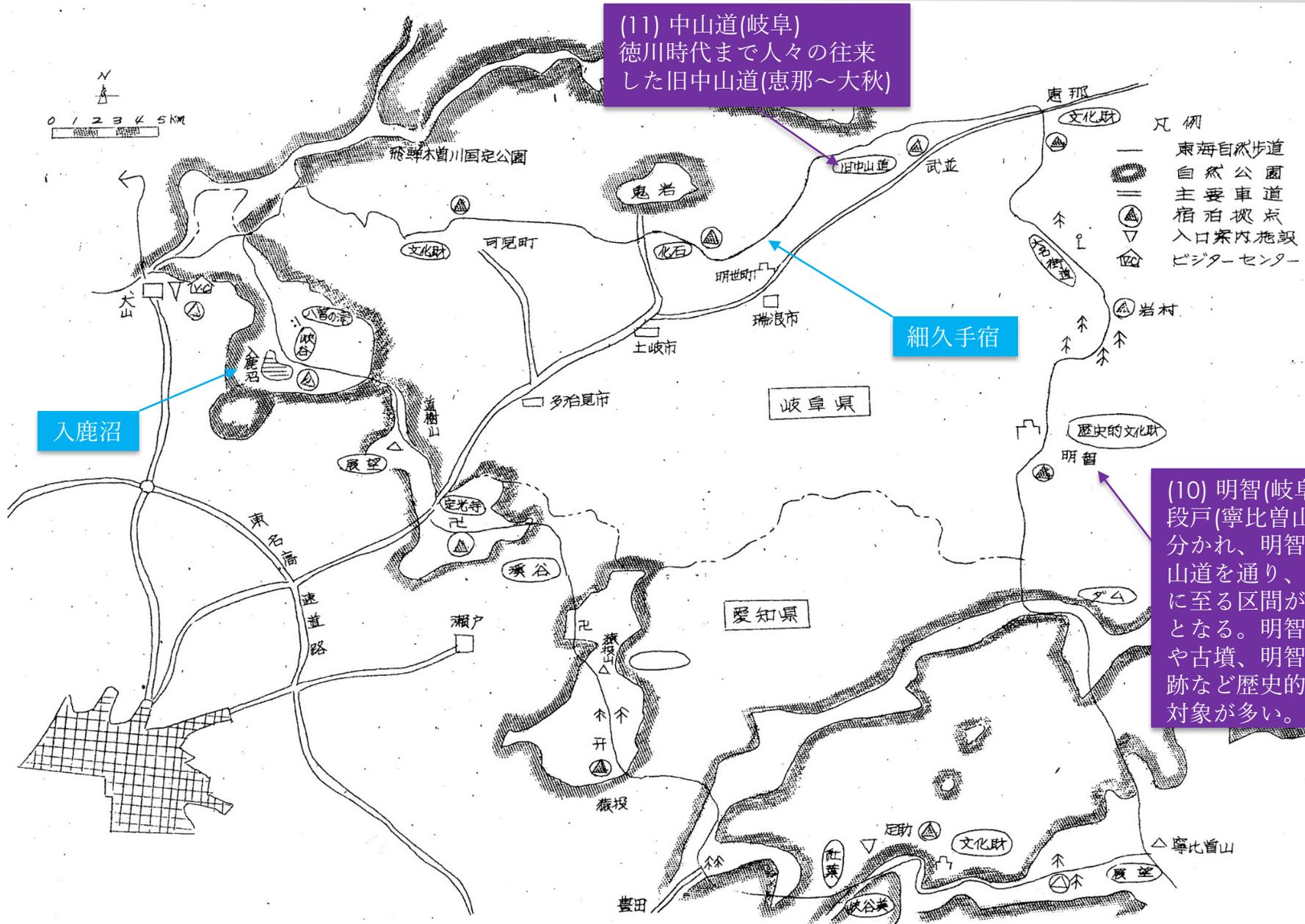


# 東海自然歩道の魅力(自然・文化)について

アンケート意見

自然に関する魅力

文化に関する魅力



(11) 中山道(岐阜)  
徳川時代まで人々の往来  
した旧中山道(恵那～大秋)

細久手宿

入鹿沼

(10) 明智(岐阜)  
段戸(寧比曾山)より  
分かれ、明智、中  
山道を通り、犬山  
に至る区間が複線  
となる。明智城址  
や古墳、明智街遺  
跡など歴史的興味  
対象が多い。







# 東海自然歩道の魅力(自然・文化)について

アンケート意見

自然に関する魅力

文化に関する魅力

(19)笠置山(京都)  
 路線は笠置から鷲峰山をこえて宇治川を下る。  
 後醍醐天皇の行在所跡等歴史的文化財が多い。

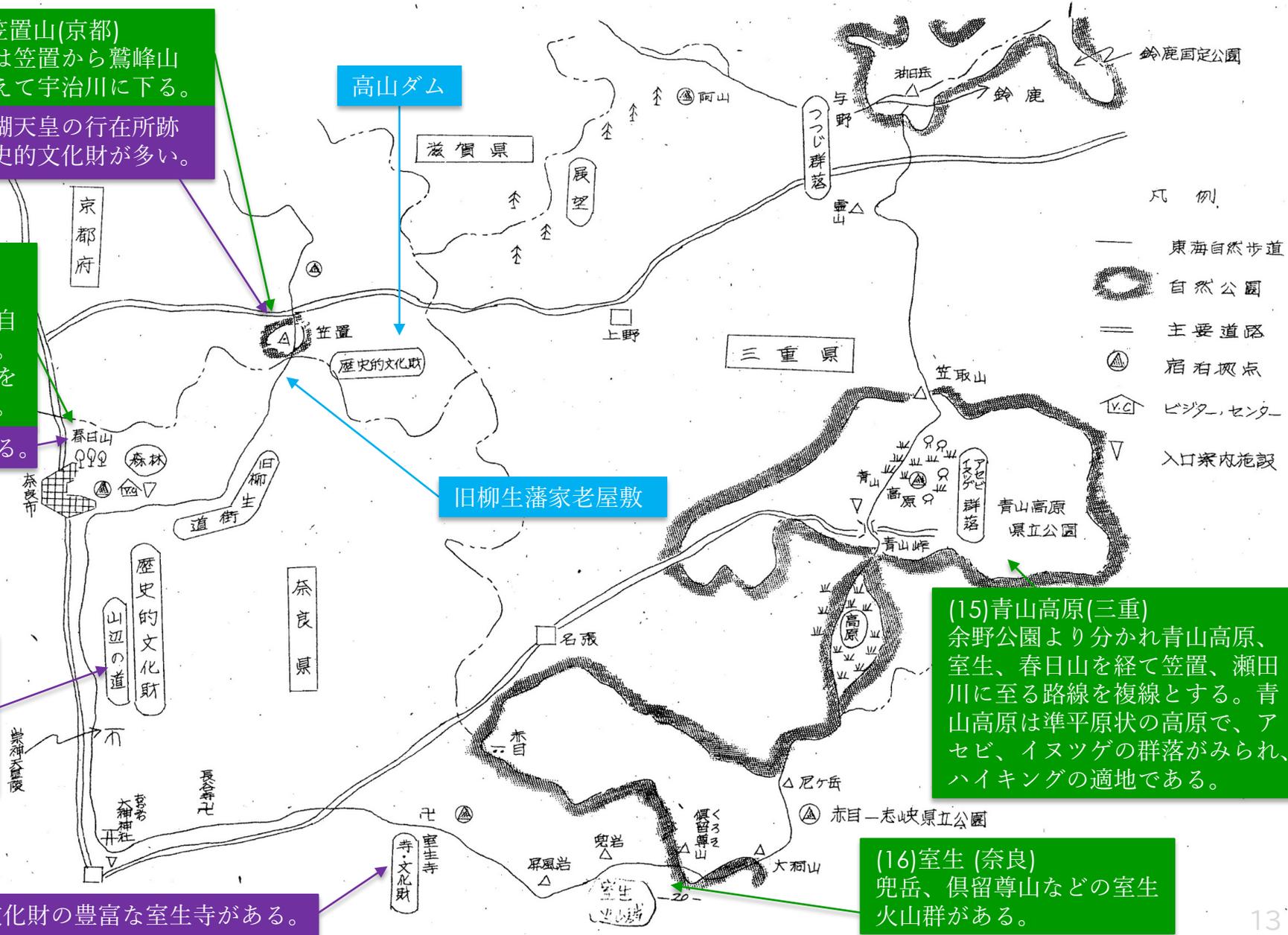
(18)春日山(奈良)  
 ナギ、スギ、カエデツバキ、シイなどの自然林が残されている。春日山から柳生街道を通り柳生の里に至る。  
 春日大社の奥山がある。

(17)山辺の道(奈良)  
 万葉時代から人々の往来のあった古い大和の道(桜井～春日山)

文化財の豊富な室生寺がある。

(15)青山高原(三重)  
 余野公園より分かれ青山高原、室生、春日山を経て笠置、瀬田川に至る路線を複線とする。青山高原は準平原状の高原で、アセビ、イヌツゲの群落が見られ、ハイキングの適地である。

(16)室生(奈良)  
 兜岳、俱留尊山などの室生火山群がある。





# 東海自然歩道の魅力(自然・文化)について

アンケート意見

自然に関する魅力

文化に関する魅力

凡例

- 東海自然歩道
- 自然公園
- == 主要車道
- ⊙ 宿泊拠点
- ⊙ ビジターセンター
- ▽ 入口案内施設

(23) 大原(京都)  
寂光院、三千院などの寺院と古都の環境が残されている。路線は、奥比叡から大原を経て、鞍馬に至る。

(22) 比叡山(滋賀)  
石山から大津市裏山を通り比叡山に至る。奥比叡の鳥類生息地で著名である。延暦寺などの寺院がある。

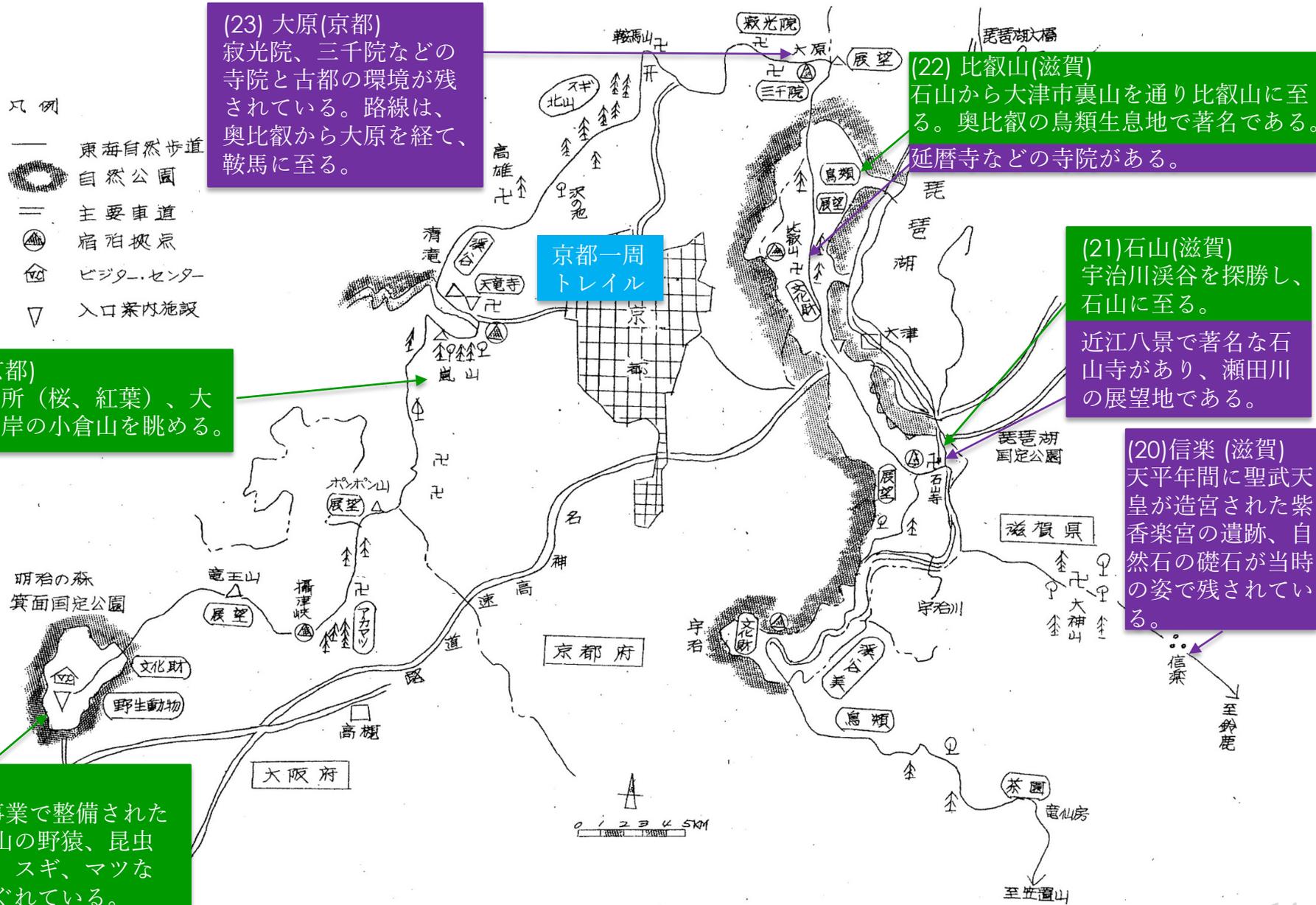
(21) 石山(滋賀)  
宇治川渓谷を探勝し、石山に至る。近江八景で著名な石山寺があり、瀬田川の展望地である。

(20) 信楽(滋賀)  
天平年間に聖武天皇が造宮された紫香楽宮の遺跡、自然石の礎石が当時の姿で残されている。

(24) 嵐山(京都)  
京都市の名所(桜、紅葉)、大堰川から対岸の小倉山を眺める。

箕面大滝

(25) 箕面(大阪)  
明治100年記念事業で整備された明治の森。箕面山の野猿、昆虫生息地、カエデ、スギ、マツなどの自然林がすぐれている。





# 東海自然歩道の構想に対する社会的反響について

昭和43年12月末に構想を発表して以降、大きな社会的反響があった

大部分が構想を支持するものであり国民の大きな期待があった。

国会でも取り上げられ、当時の首相から答弁するなど、注目度が高かった。

佐藤栄作 総理 答弁要旨 (S44.6) : 東海道自然歩道計画は、人間尊重と自然愛護の発露。早急に実現したい。

国の予算が確保できないことを危惧して、35名の有志が集まり「東海自然歩道友の会」を結成。

街頭署名運動を実施し、5,322人の署名を得た。

⇒国費2億4千万円が当てられ、「東海自然歩道施設設備費補助金」が設定。1千万円の調査費も認められた。

名称募集では、応募数は23,551通、小学生からお年寄りまで広い年齢層、多種多様な職種からの応募

## 新聞各紙等の反響 (S44.1)

「高速道路や新幹線に頼りすぎ、歩くことを忘れては人間の生活がいびつになる」(朝日)

「巨大都市東海道メガロポリスに沿って、文明に逆行するかのような自然歩道が建設されることの意義は大きい。自分の足で自然や歴史にふれることは人間性をとりもどすいい機会になる。(中略)人間が人間らしく生きることを忘れないためにも、このような“聖域”を全国にもっと確保したい」(読売)

「歩く人間のための自然歩道ができれば、おのずから人間らしい豊かな心を育てることにもなる」(毎日)

「新幹線とハイウェイの走る東海道が日本の国土に活力をつぎ込む動脈ならば、テクテク歩く“新東海道五十三次”は日本人に健康と人間性の回復をもたらす静脈といえるだろう」(産経)



「歩くことの復権」 「人間性の回復」 に共感



昭和44年

アサヒグラフ5月2日号 「東海自然歩道カラー特集」

週刊現代5月29日号 「東海自然歩道予定コース」

NHKテレビスタジオ102番組（6月2～7日）「東海自然歩道シリーズ」放映

## 週刊現代

- ・旧東海道、国道1号、高速道路、国鉄・東海道線、同・新幹線に次ぐ

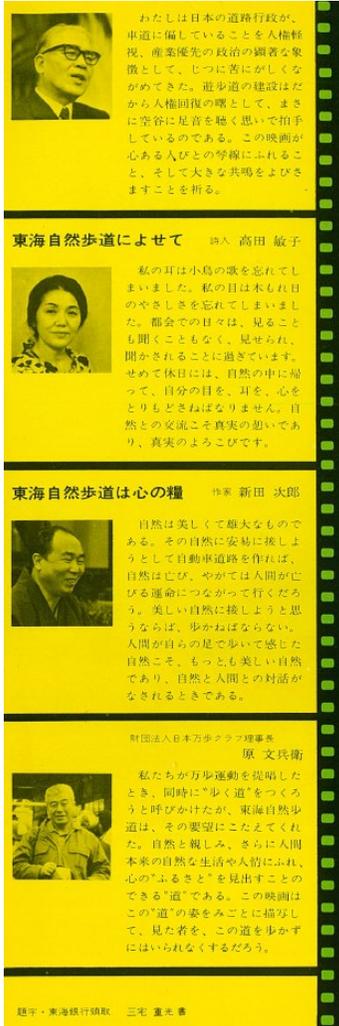
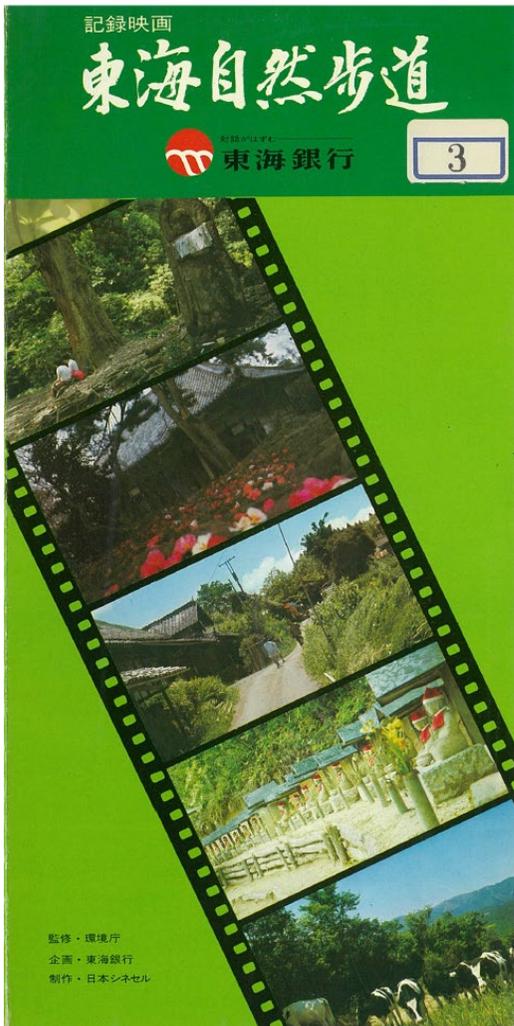
### “六番目の東海道”

- ・“東海道史”は、東京・大阪間の実質距離をちぢめる一方で、味気なさをつのらせてきたとあってよい。その、何か大切なもの、なにかうしないたくないものをもう一度、見つめ直させてくれる点で、この計画は一服の清涼剤の感がある。

# 記録映画「東海自然歩道」

東海自然歩道構想に共感した東海銀行により、社会生活の向上発展のため、東海自然歩道の意義、コースの概要、近傍の自然などを広く国民に紹介する記録映画「東海自然歩道」が製作された。

## 同映画のリーフレットに寄せられたメッセージ



テレビラジオドクター **石垣 純二**

遊歩道の建設は人権回復の曙 → **歩くことの復権・人間性の回復**

詩人 **高田 敏子** 東海自然歩道によせて

私の耳は小鳥の歌を忘れてしまいました。私の目は木もれ日のやさしさを忘れてしまいました。せめて休日には、自然の中に帰って、自分の目を、耳を、心をとりもどさねばなりません。自然との交流こそ真実の憩いであり、真実のよろこびです。

→ **人間性の回復**・自然の中での野外レクリエーションの希求

作家 **新田 次郎** 東海自然歩道は心の糧

自然は美しく雄大なものである。その自然に安易に接しようとして自動車道路を作れば、自然は滅び、やがては人間が亡びる運命につながって行くだろう。**美しい自然に接しようと思うならば、歩かねばならない。人間が自らの足で歩いて感じた自然こそ、もっとも美しい自然であり、自然と人間との対話がなされるときである。**

→ **歩くことの復権**・自然の中での野外レクリエーションの希求

財団法人日本万歩クラブ理事長 **原文兵衛**

東海自然歩道は、自然と親しみ、さらに人間本来の生活や人情にふれ、心の“ふるさと”を見いだすことのできる“道”である。

→ 東海自然歩道の魅力



多数の書籍が発刊されている

1. 高速道路、新幹線、航空機という高速交通手段が一般化する中で、「歩く」という最も素朴ではあるが人間にとって基本的な行為のための施設「みち」を確保することで、文化の多様性、重層性を図る。
2. 自動車や列車の窓越しでは目に入らない地域の細やかな自然や歴史、人々の生活は、歩くことによって見えてくる。ヒューマンスケールの自然、景観に気づきを与える機会を提供する。
3. 自然を愛し、保護する心は、直接自然にふれ、体験し、自然の中に何かを発見することによってのみ育まれる。国土の隅々まで長距離自然歩道を整備することで、その醸成を図る。



# (参考)東海自然歩道の管理運営について(当時の資料)

## 「長距離自然歩道の管理運営の指導方針」(昭和50年8月)

長距離自然歩道(以下「自然歩道」という。)は、延長も長く、また、多数県にわたるため、統制のある管理運営のもとに常に快適な利用に供されることが必要である。

したがって、**管理運営の適正と、その統一性**を図るため、関係各県が、管理運営の主体となるとともに、次の基本方針により管理運営の具体的対策を講ずるよう関係県を指導するものとする。

### 基本方針

- ①組織の結成(各県単位又は各県単位が連合する会)
- ②管理運営に要する経費の確保(管理主体である各県において確保を図る)
- ③管理運営内容の主要事項と所要経費の算出(草刈、清掃、補修、巡視、その他)
- ④自然歩道の情報提供(地図、リーフレット、定期刊行物等)

関係各県は具体的な計画の提出と、毎年度管理運営の実態報告することとされた。

# 東海自然歩道の標識



色指定：Y100C100（緑）

経緯

1990年（平成2年）「第二次東海自然歩道踏査隊」による踏破の後、「全コースに共通のシンボルマークを設定し、それを道標につける」ことを提言  
 1991年（平成3年）東海自然歩道連絡協会総会でシンボルマーク選定が決議。全国から1,282点の応募を得て選定

## 指針/設計

## シンボルマーク

## 誘導標識

## 案内図標識/総合案内標識

### 自然公園等施設技術指針

「自然公園や長距離自然歩道のシンボルマーク、歩道路線名等がある場合には、これを表記する。」

※地域特性その他の事情により運用しがたい場合、合理的でない場合は、この指針によらない。

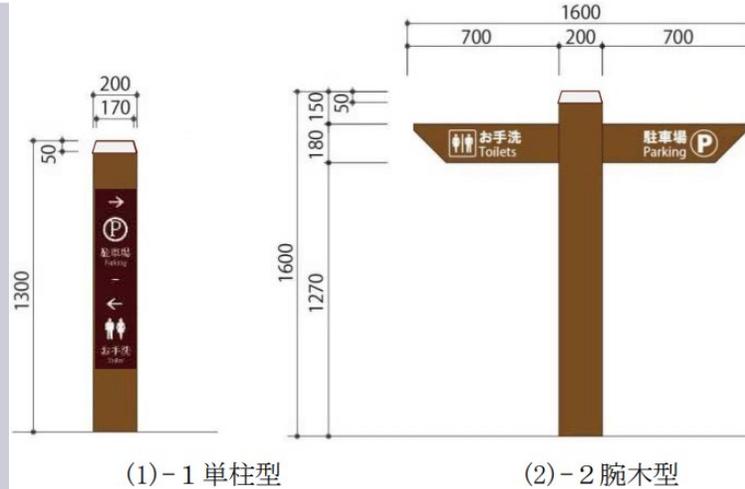


図13 誘導標識の標準例

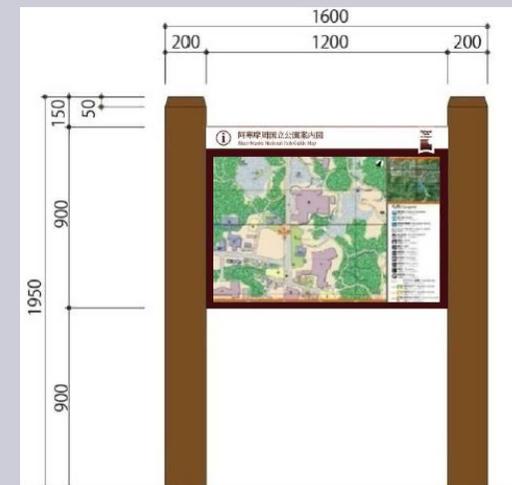
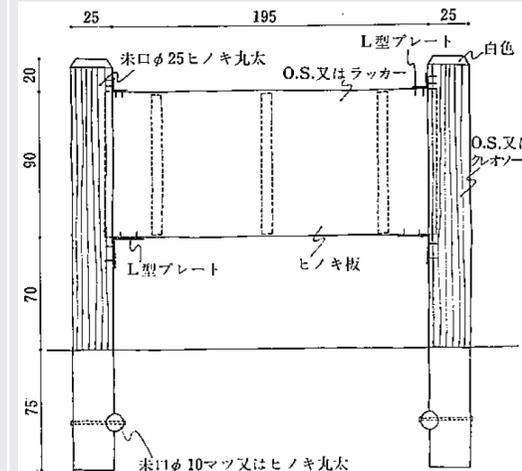
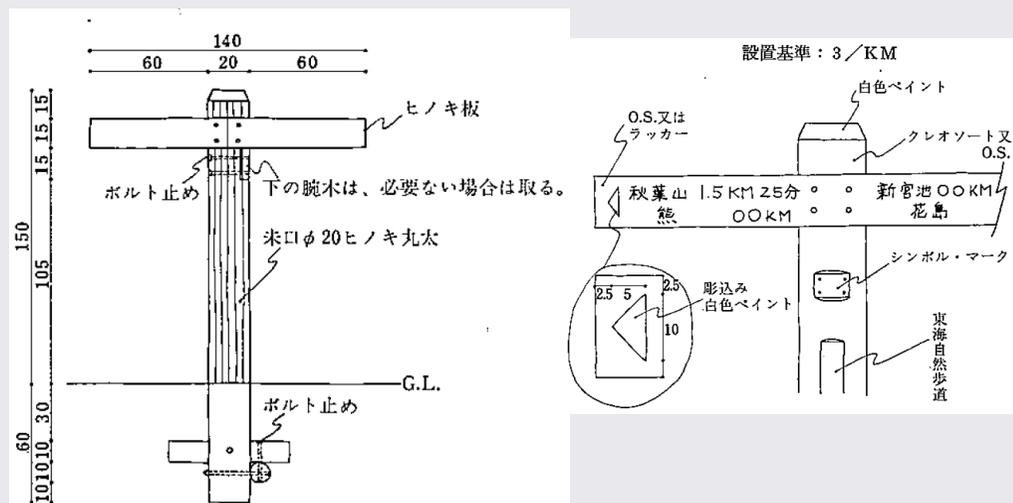


図14 案内図標識の標準例

シンボルマークを表示する設計となっている。

### 東海自然歩道施設標準設計 (S46国立公園雑誌より)

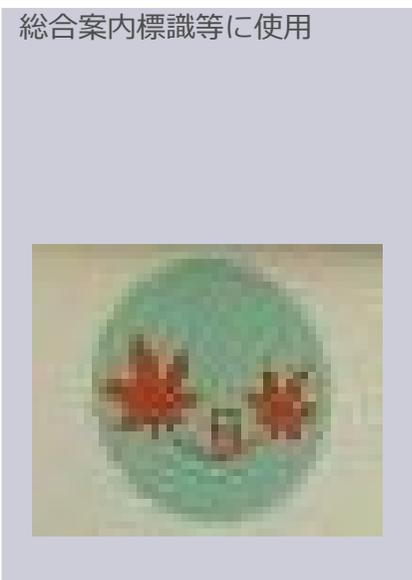




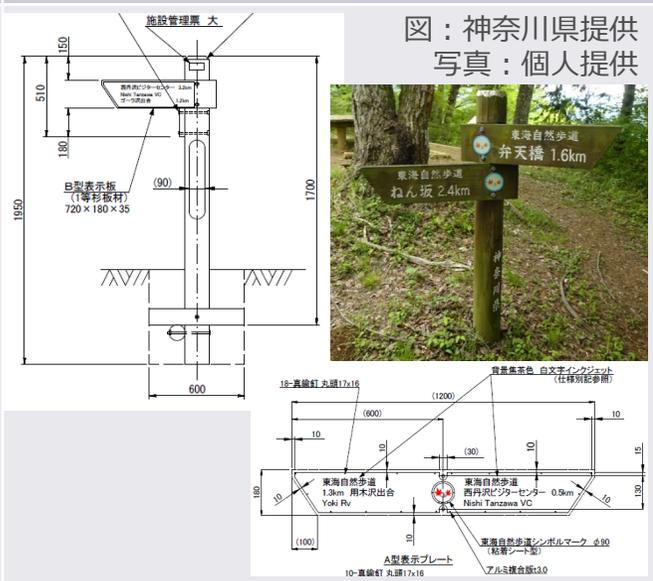
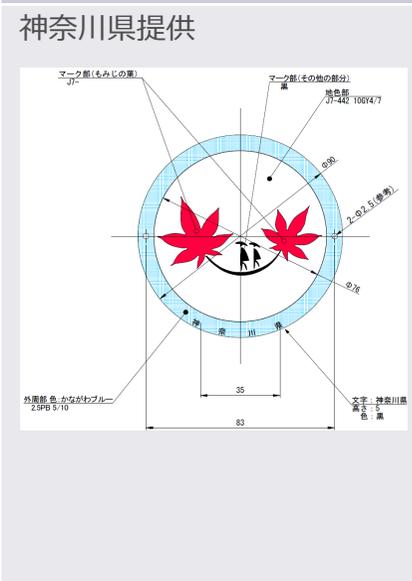
# 東海自然歩道の標識

都府県	シンボルマーク	誘導標識	案内図標識／総合案内標識
-----	---------	------	--------------

東京都



神奈川県

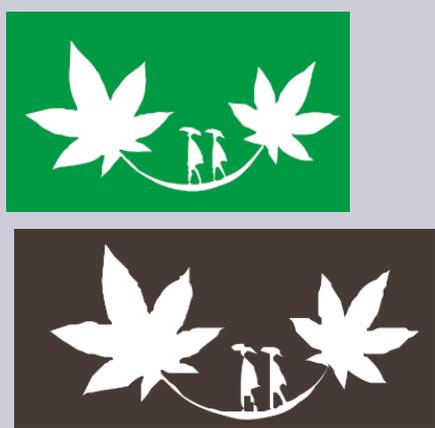


# 東海自然歩道の標識

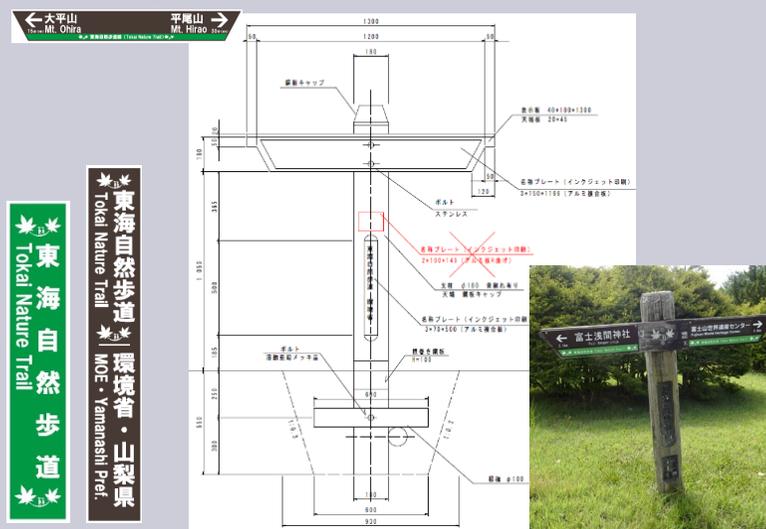
都府県	シンボルマーク	誘導標識	案内図標識／総合案内標識
-----	---------	------	--------------

山梨県提供

山梨県



図：山梨県提供 写真：個人提供



東海自然歩道 Tokai Nature Trail  
環境省・山梨県  
MOE・Yamanashi Pref.

個人提供



個人提供

静岡県



個人提供



公共部門での「県産材利用事例集」を作成しました。  
- 静岡県HPより



【案内標識】





# 東海自然歩道の標識

都府県

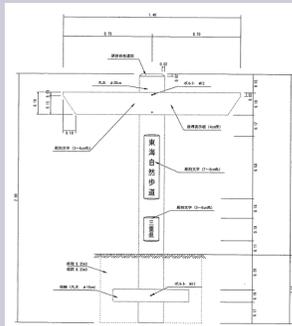
シンボルマーク

誘導標識

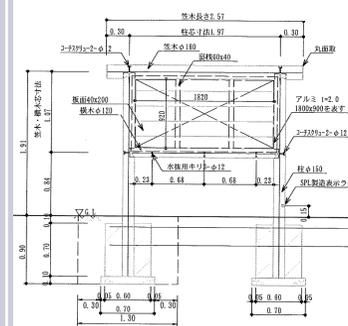
案内図標識／総合案内標識

三重県

標識の使用なし  
パンフレットで使用



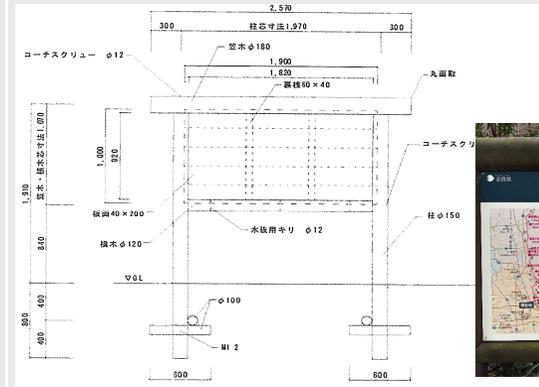
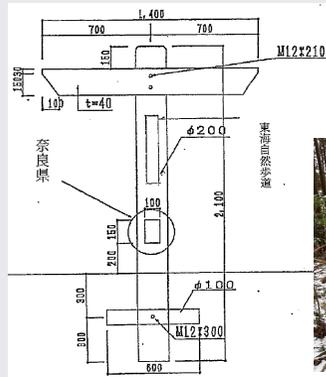
三重県提供



三重県提供



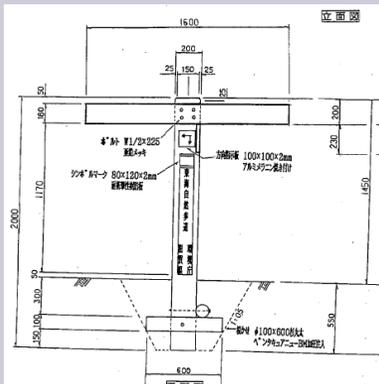
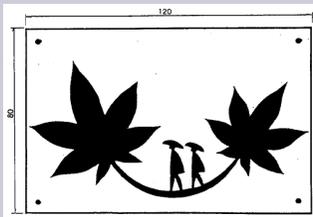
奈良県



図：滋賀県提供

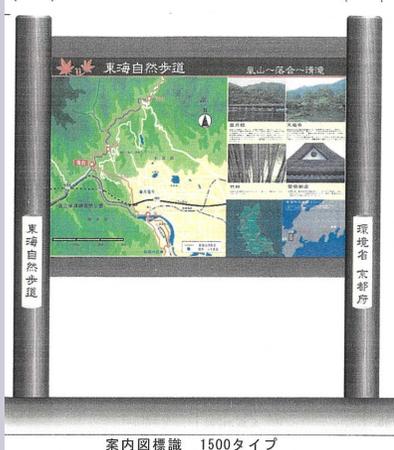
図：奈良県提供 写真：アジア航測

滋賀県



写真：  
アジア航測

# 東海自然歩道の標識

都府県	シンボルマーク	誘導標識	案内図標識／総合案内標識
京都府	<p>提供資料：東海自然歩道（京都府）標識類の統一仕様</p>  <p>東海自然歩道シンボルマーク</p>	 	  <p>案内図標識 1500タイプ</p>
大阪府	<p>情報なし</p>	<p>提供資料：道標立面図</p>   	



ご協力ありがとうございました

## ■ R 6 東海自然歩道の活性化のためのアンケート

東海自然歩道沿線の60市町村へ配布→32市町村から回答

### ●東海自然歩道の魅力

- ・その地域ならではの「食・自然・歴史」 ・歴史ある緑豊かな道
- ・自然とふれ合い楽しむことができる自然散策の場
- ・地域で使われてきた生活道をつないでいくと、東京から大阪までつながること
- ・東京から大阪まで一本の自然歩道でつながる壮大さと周辺観光スポットの魅力

など

### ●東海自然歩道沿線の見どころ、スポットなど

→高尾山薬王院(八王子市)、西湖竜宮洞穴(富士河口湖町)、段戸裏谷原生林(設楽町)、高山ダム(南山城村)、箕面大滝(箕面市)など、たくさん挙げていただきました！

### ●東海自然歩道へのアクセス、最寄り拠点

→バスの回答が多いが、鉄道駅のみや、「かなり遠い」「なし」の回答も。  
オンデマンドタクシーが1例(瑞浪市)

### ●東海自然歩道でのハイカーサポート情報

- ・中山道ボランティアガイド(瑞浪市)、地域住民による駐車場管理(四日市市)
- 観光ボランティアガイド主催のハイキング(箕面市)など



## ■ R 6 東海自然歩道の活性化のためのアンケート

- 東海自然歩道のGPSデータ提供について
  - ・ 賛成が多いが、精度によるとの意見も。
- 東海自然歩道の情報発信
  - ・ 多くがホームページとパンフレットで、路線情報や利用促進情報を提供
- 東海自然歩道の活用予定や活用希望
  - ・ 活用予定のある市町村は少数派
  - ・ ツアーの検討（いなべ市） ・ 山岳レース、歴史ツアー（新城市） など
- 東海自然歩道でのインバウンド対応と課題
  - ・ 外国語対応できる端末を用意、ホームページ・チャットボットも対応（箕面市）

課題は多数

  - ・ マップや看板がない ・ 多言語表記できていない
  - ・ 災害が多く整備が追いつかない ・ 東海自然歩道目当ての観光客が少ない
  - ・ 外国語の標識がないので、地域の方が聞かれて困ったという事例も
  - ・ 大型バスによる通行障害、オーバーツーリズムが危惧される



# 東海自然歩道に関するヒアリング

## ■ 個人ハイカー・コミュニティサイト運営者

### ● 東海自然歩道の魅力

- ・ **アクセスと気候**がよい。 ・ **自然と歴史**を感じられる。
- ・ **東京と大阪**をつなぐ。 ・ **富士山、京都**といった「日本の心」を通過する
- ・ 様々な面から日本を深く感じられる。

### ● 東海自然歩道のおすすめエリア

- ・ **富士山周辺** ・ 京都の**嵐山、高雄** ・ **山辺の道** ・ **段戸山裏谷原生林**
- ・ インバウンドには中山道（御嵩～恵那）、関ヶ原が人気

### ● 東海自然歩道で改善してほしいこと

- ・ **アクセス、宿泊、補給**の情報がほしい
- ・ **宿泊できる場所**を増やしてほしい
- ・ 崩れた道を直してほしい
- ・ 県境で途切れない、つながった地図がほしい

ハイカーはどこにテントを張って良いかわからず、所かまわずテントを張られると地元の方も困る。新しくテントサイトを整備するのではなく、「この町ではこの公園をキャンプサイトとして使ってよい」などと意思表示することで事前にトラブルを防ぐことができる。  
とのご意見あり

### ● 東海自然歩道の標識

- ・ **都府県で整備に差がある**との声が多い。山岳地でも整備が行き届いていると評価の高い路線、現在では必要性が薄れている注意標識（ゴミ捨て等）もあるとの意見もあった。



## ■ 旅行会社・自治体・観光団体など

実施済みの結果のみ

### ● ツアーについて

- ・ 東海自然歩道と重複する中山道や山辺の道のツアー利用はあるものの、**東海自然歩道を銘打ったツアーはほとんどない**
- ・ 可能性はあるものの、熊野古道や伊勢路のような**訴求力（ならではの魅力、ストーリー）**が必要。
- ・ **安全な歩道、アクセス、宿泊**が重要。
- ・ 「見てイメージできる」マップ、ガイドブックなどがほしい。

### ● 整備の課題

- ・ 路肩が崩れているところの**補修**
- ・ **費用**が多くかかる
- ・ （近自然工法による整備について）ボランティアの労働力は重要だが、自然に対する観察力、知識や洞察力がないとできない。国や自治体から業務として発注されないと財政的に続かない。（歩道保全に取り組まれる団体のご意見）

### ● 自然歩道を活かした地域の活性化の事例（天理市）

- ・ 環境省の助成で設けたハイカーへの情報発信拠点（トレイルセンター）を指定管理で運営。飲食店を運営しながら、音楽会や展示会、ウォーキング会等を開催することで、地域住民にも貢献できる施設へ。



# ロングトレイルの維持管理・運営システム構築の考え方

## <ロングトレイルシステムに必要な5つの要件>

- ① 長く**1本**に続いている道であること
- ② 道の**管理主体**が明確であること
- ③ 道の**状態**を把握し、**共有する仕組み**があること
- ④ **利用情報を提供**できる仕組みがあること
- ⑤ 上記③④を適切に実施するため**地域**を含んだ**管理運営体制**があること

## <ロングトレイルシステム構築のプロセス>

プロセス	MCT	ST	東海
1 基本計画の策定	○		(構想)
2 地域との協議による路線設定と道づくり	○		
3 憲章の作成	○	○	
4 運営計画の作成	○		
5 地域連携による <b>管理運営体制</b> の構築	○	○	
6 <b>運営団体</b> の設立	○	○	
7 拠点施設の整備・運営	○	○	
8 歩道状態把握のための管理台帳の作成	○		
9 危機管理体制の構築	△	○	
10 一元的な利用情報の集約・提供・発信	○	○	
11 GISデータの提供	○	○	Google Mapのみ
12 データブックとマップブックの製作・販売	○	△	
13 通称及びシンボルマークの作成	○	○	マーク有
14 運営団体の資金調達	△	○	



# ワークショップについて

これまでの講演やこれまでのご経験を踏まえて、東海自然歩道の魅力や課題について意見出しをお願いします。

## ■グループワークの流れ

実施項目	実施内容	所用時間
1) 班分け・目的説明等	①班分け表をもとに参加者移動	2分
	②自己紹介	10分
2) 各自意見検討	②目的説明等	3分
	③意見を検討し、付箋に記入	15分
3) 各自意見発表時間	④1人ずつ意見の発表	20分
	⑤付箋を意見項目ごとに貼付	10分
4) 意見交換・班内まとめ	⑥意見を分類・整理	10分
	⑦意見交換	15分
	⑧内容のまとめ	5分
5) 各班発表・総評	⑨班ごとに取りまとめた意見の発表	15分
	⑩総評	5分

休憩の間に机などをセッティングします。  
休憩後、班分けの記号と  
同じテーブルに着席をお願いします。

付箋を配布しています。  
意見を書き出してください。

班内の意見をカテゴリごとに分けて  
整理をしてください。

